

## I 「部落問題部会」研修会開催のお知らせ

第2回部会が、7月15日(金)18:30から「福岡市立千代人権のまちづくり館」で行なわれ下記のように8月8日(月)の研修会の内容が決まりました。たくさんのご参加お待ちしております。

日時：8月8日(月)10:00~16:00 資料代：¥500

会場：「福岡県ボランティアセンター(福岡県吉塚合同庁舎5階)」

内容：①講演 講師：原口孝博さん(元福岡市立堅粕人権のまちづくり館館長)

演題：「全国水平社創立百周年にあたって、いま一度『部落差別』を再考する)」

### ②授業研報告

報告者：園田久子さん(本研究所副理事長)

テーマ：「あなたは勉強して、優しくなったよ！

～差別事件のとりくみと教材化～」

問合せ：研究所ホームページまたは事務局(092)645-0388まで(担当：峰)

## II 会員から

### 読経法要

松本 京子

『法華経第二十五観音経』の読経が続いている。見事な華が活けられ、果物・赤飯・菓子・水・酒などのお供えもあげられている。リトル・アジア・マーケットの吉塚御堂での法要。ビルマから来日されたお釈迦さまも下からのライトアップで美男度も上がっているように見える。読経をしているのは、堂守の瀧野隆さん。去年10月外国人部会で、クーデター後のミャンマーの様子や、コロナまで8年間現地でたずさわって来られた支援活動など話をしていただいた方だ。その講演内容は『リベラシオン』No.186(2022年夏号)に詳しい。

このご縁から、ビルマで戦死したと聞かされていた叔父のことを思い出し、話したことが、この法要に繋がった。叔父は1945年7月6日戦死と伝えられている。享年22歳。「ミャンマー各地の戦跡に行った時には、お経をあげ、お花やお水をお供えすることにしています」と言われる瀧野さんの読経をどんなに喜んでいることだろう。

祖母はこの叔父の話をよくしていた。やさしいおとなしい子だったと。ある時、兵隊服で台所から家に入ってきたので「軍人さんだから、玄関からお入り」と言ったらスッと消えた。夢だった。「あの子はあの時、私に暇乞いに来たんよ」と言った。その祖母が亡くなって、叔父の話聞く機会もなくなり、法要が営まれることなく長い時が過ぎた。

戦死者は18万人とも言われるビルマ戦線。時には40度を越すこともあるという暑い中、雨季には泥濘になるという所を、十分な食糧も装備もなく進軍した若者たち。斃れた人々で、ジャングルには白骨街道が出現したと言われる。読経を聞きながら、忘れていたことを、ごめんなさい、ごめんなさいと詫びた。

この法要は実は瀧野さんの叔父さんとの合同だった。「祖母が戦死した息子のことをとても残念に悔やんでいたであろうと思います。」瀧野さんのおばあさんも孫に、亡くなった息子さんのことを話しておられた。戦争で子どもを失った母親の悲しみ苦しみは深く、口に出さずにはいられなかったのだと思う。

戦死者の無念やその家族たちの悲嘆・苦悩の上に戦後の私たちの日常が成り立っていた。この人々の嘆きを知らぬげに戦争を繰り返す愚かな私たち人間。

「これをきっかけに毎年7月5日には必ず合同法要を続けます。どなたにでもさせていただきます。年に一度心を合わせて誠心誠意亡くなった人たちのことを思い出しましょう」と瀧野さん。地には平和を心には平安を求めて、来年7月5日には一人でも多くの人と祈りを合わせたい。

Ⅲ (公社)福岡県人権研究所 人権教育内容の創造研究会から

石瀧塾フィールドワーク 「石瀧豊美先生とめぐる福岡市博物館」

日時：8月21日(日)13:30～15:30 参加費：¥1000(入場料+資料代等込み)

場所：福岡市博物館(集合：福岡市博物館一階 13:00)

連絡先：(090-4516-4092)西原由美子携帯\*事前予約は入りません。

\*映画「破戒」の鑑賞券完売しました。ありがとうございました。

ニュース担当：峰 <会員登録がまだお済みでない方はHPからお願いします>

812-0046 福岡市博多区吉塚本町13-50 ホームページ <https://www.f-jinken.com/>

tel 092-645-0388 fax 092-645-0387 email [info@f-jinken.com](mailto:info@f-jinken.com) (登録解除はこちらへ)

[人権研究所の本]

新谷恭明『校則なんて大嫌い！—学校文化史のおきみやげ—』

久米祐子『子どもから障害児を「分けない教育」の戦後史インクルーシブ教育とは—』

木村政伸『教室の灯は希望の灯 自主夜間中学「福岡・よみかき教室」の二五年 』

関 儀久『感染症と部落問題 近代都市のコレラ体験』

☆お求めは⇒<https://books-f-jinken.raku-uru.jp/>